



かながわの交通



交通安全年間スローガン 全日本交通安全協会会長賞
一般部門(A) 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

飲み会は ハンドルキーパー 決めてから



山下公園通り

(横浜市中区)



自転車はどこを走ったらいいの…? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(平成28年11月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成28年		24,505	116	29,173	県人口	9,148,549	4,567,384	4,581,165
平成27年		25,719	153	30,702	免許人口	5,615,095	3,233,478	2,381,617
増減数		-1,214	-37	-1,529	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-4.7	-24.2	-5.0				

(県人口は平成28年11月1日、免許人口は平成28年10月末現在)

平成28年交通安全功労者表彰式

1,570人と252団体が受賞

平成28年交通安全功労者表彰式が11月24日(木)横浜市の西区の県立音楽堂で行われました。表彰は県知事表彰、県公安委員会表彰、県警察本部長表彰など各表彰が行われましたが、紙面の都合により県警察本部長と県交通安全協会会長の連名表彰受彰者の方々を紹介します。(敬称略)

受彰者(団体)の皆様おめでとうございます。

神奈川県警察本部長 連名表彰
神奈川交通安全協会会長

交通安全功労者(48人)
栄 森雅宏
加賀町 八巻健司
山手 丹羽博利
南 千葉六男、栗飯原勉
岸町子
戸部 内田裕子
福永浩世、稻垣清子
保土ヶ谷 矢部恵一
北村恒雄、工藤圭亮



(表彰式に臨む板橋副会長)

緑 新倉一夫、宮田芳正
森智弘
青 葉 高橋則夫
廣田康美、坂間智司
戸塚 山田雅大
泉 渡辺幸弘、箕島康明
瀬谷 石井秀人
大滝祥弘、鎌田康夫
横浜水上 原田龍次郎
川崎 池口吉紀
喜多村登
中原 松原勝、松本玲子
高津 赤津武雄
宮前 都倉良治

多摩 田中勝美、原寫晃
寫田博、古谷祐次、濃沼太
浦賀 八巻弘明、佐藤朗
三浦市 草間俊夫
加藤敏夫、神田幸一
鈴木衛、米本純一
大船 小泉権七
藤沢市 榎本洋一、鈴木庄一
藤沢北 飯塚いづ美
飛澤静子
佐藤正男、井上良子
水野郁子、桐ヶ谷彰織
伊澤金光
平塚市 木場忍、永田和久
薩美治男
大磯地区 小川芳明
小島重藏、杉山レイ子
小田原市 門松幸世
市子嶋幹夫、平岡茂生
秋山幹晴
足柄 杉本英一
関野一男、大木繁
碓井優喜朗
秦野市 山口優、諸星義晴
村上勝祐、山口勇、横山敏樹
諸星勝美、近藤恵理子
桐山美奈子、吉田美津江
伊勢原 薄康男、鍛代衛

平成28年 交通安全功労者受彰者

表彰者	種別	受彰者数
神奈川県知事	交通安全功労者(個人)	48
	交通安全功労者(団体)	19
	交通安全功労者(個人)	10
神奈川県公安委員会	交通安全功労者(個人)	10
	交通安全功労者(団体)	10
	交通安全協力者(個人)	70
神奈川県警察本部長	交通安全協力者(団体)	25
	優良運転者(事業用)	73
	優良運転者(自家用)	55
神奈川県警察本部長(連名) (公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	98
	優良運転者	276
	交通安全功労者	132
(公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全優良団体	30
	優良運転者(20年)	145
	優良運転者(15年)	379
神奈川県警察本部長(連名) (社)神奈川県安全運転管理者会	交通安全功労者	13
	優良安全運転管理者	42
	優良運転者	46
(社)神奈川県安全運転管理者会	安全運転管理優良事業所	70
	優良安全運転管理者会	3
	交通安全功労者	22
(連合会)神奈川県交通安全協会	優良安全運転管理者	66
	優良運転者	95
	安全運転管理優良事業所	95
計	個人小計	1,570
	団体小計	252
	合計	1,822

山口孝光
厚木警察署管内 又村秀
井上二郎
大和綾瀬 関根敏富
相模原 木口榮、守屋守
佐藤晴芳、小冷義行
相模原南 今井忠蔵
渋谷浩、進藤武志
森川征四郎、九嶋正
大谷泰夫、長瀬貞夫
田中茂人
相模原北 平本祐一
高城昌子、原規市、麻生茂
優良運転者(276人)
足柄 池田早苗

加賀町 山崎勝美
小原進、右田卓也
鈴木秀基、金子雄一
葛西健一、齋藤洋
後藤和則、金子忠義
保坂芳幸、山本公弘
大八木薫、平井秀明
榎本賀代子、平見勝也
西部徹、佐喜眞学、大村尚文
磯子 大須賀胤繼
坂爪勇策、大戸信治
金沢 榎並登美子
岩沢清、岡村正樹
南 渡辺成明、茂木健市
内山功

神奈川 松本政雄
荒井美知子
鶴 見 榎本真也
木村智恵子、佐々木秀明
古屋正、服部哲郎
保土ヶ谷 石川幸男
横山修治
旭 薄浩二、師星博
藤原孝佳、福田秀夫
小金井豊
港 南 山平慎
矢部秀敏
緑 高橋昌彦
石井利雄、小川諄
波多政洋、巻島幸吉
秋元昭重、矢島彰
岡部妙子、高橋昌三郎
北川仁、宮本久美子
青 葉 亀山正夫
城所紀子、庄子幹雄
都 筑 菅江朋代
戸 塚 内田美代子
清野忠夫、濱本修
泉 村山洋子、古屋君雄
中嶋謙太郎、佐藤一也
山野礼子、渡辺彦次
石毛進
瀬 谷 渡辺顕一
川 崎 井上進、高橋峯治

梶川かおる、中島崇臣
川崎臨港 井上章次
幸 高橋藤雄、夏虫修
佐藤善治、大渕伸比古
深瀬雄一、傳法谷光圀
中 原 石井孝雄、相原勝
田本マサ子、紺野守男、佐藤博
小島賢一
高 津 山内稔、手塚正弘
角田富義、石川定明
庄司覺、鏡吉弥、笠井英彦
植松音重、植松英彦
蜂巢廣治、曲測明
輕部照子、渡辺裕美
河合晃彦、森一雄
保國稔、安達次哉、渋谷昇喜
宮 前 豊廣學、菅原詮
白井祐一、中込賢吾
越智桁文、池澤明男
木原菊江、工藤末廣
古賀友紀、佐々木敏男
高橋一也、富澤正志
中村直嗣、福田恵一
牧野翼、横山満子
横山洋司郎、富田幸博
多 摩 斉藤晃、山内久光
麻 生 鈴木恵美子
福田五十七、清水誠二
藏原正昭

横須賀 鹿島忠彦
島崎和見
茂垣仁、大倉朝喜
福田朝治、武藤昭雄
後閑義二、小高利隆
高原征夫、藤沼勝男
専頭直美、大坪賢次郎
関澤惟司、中澤巖、中村忠男
中村勝左エ門、新倉勝昭
内山克彦、山崎年男、原口守
丸山幸一、長塚信二
石丸倫子、榎本俊昭
渋谷るみ、片岡勉
齊藤千賀子、本田徹
鎌田万里子、小山清
山田隆康、佐々木純也
永野智司
田 浦 薄恭一郎
高木猛、松本厚志
浦 賀 浜ゆみ
君塚純也、増田泰英
岡田佳子、北村正弘
増田稔、平山けい子
岸金春、根岸ヨシ子
山口達雄、石井信也
三浦市 小野寺明彦
岡本博和、伊東博
岡田百合子
葉山町 平泉忠廣

富田芳明
逗子市 清水則之
藤沢北 青木博
池亀チエ子
茅ヶ崎地区 藤倉義典
中鉢隆夫、高橋秀男
矢野克彦
平塚市 牛田弘造
押川秀志、河治良美
小山一朗
大磯地区 野田康雄
鈴木洋祐、岩田清二
柏木博、増田完
小田原 渡辺浩
和田良昭、松尾千鶴子
二見智、長谷川竜司
田中利雄、皆木千穂
湯川恭子、門真利幸
野間律夫、遠藤日出男
足 柄 工藤宏子
杉田有子、千葉まさ子
秦野市 岩本三代司
原山浩一、原愛子
厚木警察署管内 長井康明
諏佐正秋、本間志げ子
幡野一俊、山口健也、杉山欣一
大和綾瀬 伊藤眞一
今福文夫、近藤一雄
戸田清訓、藤田春義

藤田オトエ、小川正
北野高志
座 間 佐藤哲雄
遠藤秋男、赤石守
川邊富喜子、木村幸治
杉浦行雄
吉峯一朗、山口忠義
加藤京子、大矢保雄、諸永光
佐藤和美
海老名市 植木光美
田野口芳江、橋本郁子
今井直人、若松慎一
田中秀昭、小関孝男
鈴木健司、熊谷まり子
増田あづさ、奴間政代
小林トヨ子、今井安之
浜田伸夫、池亀マツ子
山本是、土居依男
落合紀美子、岡安幸子
玉井康子、藤田税
成田トヨ子、高橋栄
小川政次、渡部忠義
相模原 中里昌徳
脇田浩紀、黒木よしみ
横堀徳治、吉岡彩子
新井淳、篠崎晴美
相模原北 並木裕卓
井草正三
津久井 佐藤哲也

年末の交通事故防止運動

● 実施期間

平成28年12月11日(日)～12月20日(火)の10日間

● 目的

年末特有の交通量や飲酒の機会の増加などにより、交通事故が多発することから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

● スローガン

無事故で年末 笑顔で新年

● 重点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 歩行者(特に高齢者)と自転車の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



運転免許証の自主返納(申請による免許の取消し)

身体機能の低下や、認知症の疑いのある高齢運転者による悲惨な交通事故が多発し、社会的な問題となっています。

- 運転の必要がなくなった方
- 運転に自信のない方(車庫入れでぶつける、ハンドルやブレーキの操作が遅いなど)
- 家族から「運転を辞めてほしい、心配だ」と言われている方

は、自主返納を考えて下さい。

免許の有効期間内であれば、自主返納後に

運転経歴証明書

の申請ができます。新たな運転経歴証明書は、原則として金融機関等で本人確認書類として使うことができ、また、これを提示することにより、「神奈川県運転免許自主返納サポート協議会」の加盟企業等から商品の割引、入場料の割引、自宅への配送無料などの特典を受けることができます。(詳細は神奈川県警察ホームページをご覧ください)



(運転経歴証明書～見本)



年末年始の業務案内

● 運転免許手続きのご案内【運転免許試験場、警察署】

年末年始は大変混雑します。手続きはお早めに！

受付は、運転免許試験場・警察署とも

年内は **12月28日(水)** まで行います。新年は **1月4日(水)** から行います。

平成28年12月				平成29年1月			
28	29	30	31	1	2	3	4
水	木	金	土	日	月	火	水
通常業務 最終日		← 業務休止 →				通常業務 開始日	

注 平成28年12月29日(木)から平成29年1月3日(火)までの間に運転免許証の有効期間(誕生日の1か月後)が満了する方は…

平成29年1月4日(水)まで有効です。

《問い合わせ》 神奈川県警察ホームページ <http://www.police.pref.kanagawa.jp/>
運転免許試験場 ☎045(365)3111 ※ 間違い電話にご注意ください。

● 試験コース開放等のご案内【県交通安全協会】

平成 28 年 12 月						平成 29 年 1 月						
24	25	26～28	29	30	31	1	2	3	4～6	7	8	9
土	日	月～水	木	金	土	日	月	火	水～金	土	日	月
コース 開放	受付業務	休 日 (受付・コース開放休止)							受付業務	コース開放	受付業務	コース開放

ご来場の際は、
電車やバスなど
の交通機関をご
利用ください



交通事故の悲劇に学ぶ ④3

●「心の歪み」 運転手(47歳)

「ドカン」と、何かが爆発したかの衝撃音。暗闇の中飛び散る火花、路上を無残にも転がって行く黒い塊…。

忘れようとしても忘れられない、いや、一生忘れてはならない、一生背負い続けていかなければならない出来事が起こってしまったのです。12月の世界中の誰もが幸福を願っていたであろうクリスマスの早朝、その出来事を起こしてしまいました…。

その前日の夕方、私は帰宅をして幸福を願う者の一人として、ささやかですが、いつもより多めのお酒を口にして翌日に備え早目に布団に入りました。翌日早朝、納品先へ赴く為、目を覚まし、多少の気だるさを感じながらも、いつもと変わらない眠気程度のものだと思いつつも、自宅を出て会社でトラックに乗り換えて目的地へと出発しました。勿論、車両の仕業点検、交通安全のお守りを握り今日一日の無事を祈り、シートベルトをしっかりと装着しました。運行所要時間は約3時間、到着依頼時刻を考えると、慌てずのんびり走行しても十分に時間が余る運行日程でした。

その日は土曜日の早朝ということもあり、交通量も少なく片側2車線の国道に入るとその走り易さは一層増して、左車線を走行する私の車両の前後を走る車の灯りは一つも見えず、闇に浮かぶのは前方の信号機の色だけとなった瞬間にその出来事が起きたのです。

法定速度で走行する私の車両が前方の信号機の色が青から黄色へと変わった瞬間、アクセルを緩める事なく交差点に入ろうとしたその時に歩道から一台の自転車が横断歩道を渡り始めました。私はブレーキを掛けながらハンドルを右に切り自転車を避けようとしたのですが間に合わず、跳ね飛ばしてしまったのです。火花を散らしながら弾き飛ばされて行く自転車、あたかも人形の様に転がっていく被害者の方をスローモーションを見るかの如く目で追い続ける私、「やってしまった…。どうしよう…。」頭の中が真っ白になり、パニック状態に陥ってしまった私は被害者の方を助ける事なく、その横をすり抜け停車するまでに700mもの距離を走らせてしまったのです。我に返った私は、携帯電話で救急車の要請をしながら被害者の救護へと駆け出したのですが、もはや手遅れでした。私は駆けつけた警察署員に身柄を拘束され、緊急逮捕となったのです。警察署での取り調べ中、被害者の男性が亡くなられた事を告げられました。男性が20歳の若者だと言うこともその時に知り、私は目の前が真っ暗になり、ただ呆然とするばかりでした。



(イラストは本文とは関係ありません)

そして、取り調べの中で私が前夜に飲んだアルコールが消える事なく検出され、私の罪名は自動車運転過失致死並びに道路交通法違反(酒気帯び運転・救護義務違反)で起訴されました。裁判の末、懲役3年の判決を言い渡されたのです。私は今、市原刑務所で受刑生活を送っています。社会にルールがある様に刑務所の生活にも全て決まり事があります。

朝の起床時間から、夜の消灯時間まで遵守事項を守り生活をしなければなりません。真っ直ぐに人生を歩み続けたつमりの私ですが、いつしか心が歪んでいた事に気が付かされました。「しっかり睡眠をとったから酒は抜けているだろう」、「黄色信号だから人など飛び出さないだろう…」、全ては私の心の中に原因があったのです。被害者やそのご遺族の方々に対しての償いについては、何を以って償いとすれば良いのか、今だにはっきりと分かっていません…。示談も整っていません。刑期を終えても罪は消え去る事はなく、お金を支払えば被害者が戻る訳でもありません。ご遺族の方々も私を憎み続けられ、納得して下さる訳でもありません。ただ分かっている事は、私が残りの人生を精一杯生き抜いて行く事。生きているうちにいずれ償いとは何かと言う事の答えがきっと見つかると思っています。一生を懸けて償い続けて行く覚悟です。そして、私の帰りを待つ家族、会社の社長、同僚の為に今日も心を磨いていきます。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第48集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をお願いしている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (一社) 神奈川県建設業協会 ————— 横浜市中区太田町
- 朝日オフセット印刷(株) ————— 横浜市鶴見区本町通り
- コイト電工株式会社 ————— 横浜市戸塚区前田町

二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月17日(木)県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00～)及び自転車安全教育推進委員会(15:00～)が開催されました。

両委員会とも只野委員長の挨拶に続き、県警察本部交通総務課担当者から二輪車、自転車のそれぞれ関係する交通事故情勢について説明がありました。

次いで委員会事務局から平成28年中の所管業務(二輪車安全運転大会、交通安全自転車大会)等の取り組み状況が報告され、来年度も二輪車、自転車に係る大会の開催、各種講習等を実施することとしました。



※ 平成29年度大会開催予定

- ① 第48回二輪車安全運転神奈川県大会 平成29年5月27日(土) 神奈川県運転免許試験場
- ② 第48回こども自転車・第6回高齢者自転車神奈川県大会 平成29年7月1日(土) 横浜文化体育館

《高齢者交通安全緊急特別対策合同キャンペーン》

～ 津久井・相模原北交通安全協会 ～

高齢運転者による悲惨な交通事故など社会的問題となっており、相模原市緑区内でも高齢者の関係する交通事故が多発していることから、12月1日、高齢者が利用することの多い

津久井日赤病院・相模原協同病院

において、それぞれの交通安全協会が協力し合って

自動車運転中、歩行中、自転車利用中の交通事故防止などと呼びかけました。



自転車安全教育指導者講習会

11月11日(金)、藤沢市の辻堂海浜交通公園で48名(うち女性15名)が参加して、自転車安全教育指導者講習会を開催しました。

午前の講習では、県警交通安全教育隊隊員から自転車の交通ルール、チリリン・スクールの実施要領等について座学指導を受けた後、屋内で自転車の点検、見通しの悪い交差点での安全確認、片手運転の危険性などの指導要領を学びました。

午後の講習では、屋外の交通公園のコースを利用して、交差点の安全確認など基本走行に係る講習が行われ、受講者は疑問点などを質問しながら懸命に指導要領を習得しました。

最後に検討会、質疑応答が行われた後、受講者に修了証、認定証、チリカが交付され、簡易式の空気入れが贈呈されました。指導員バッジは、別途送付する予定です。



交通安全資機材《反射材体験BOX》の整備



靴に貼付する反射シールなど各種反射材の効果を確認できる反射材体験BOXを新たに整備しました。組み立て式で高さ調節が可能となっており、組み立て時のBOXの大きさは120センチ×44センチ×35センチ。プラスチック製で、片手で楽に支えられるほど非常に軽く、本紙本年2月号で紹介した「反射材効果体験テント」よりも持ち運びに便利(64cm×92cm×13cmの収納ケース)です。

その他貸し出し希望の多い、クイックアーム、クイックステップ各1基も追加整備しましたので、ご利用をお待ちしております。



茅ヶ崎地区交通安全協会
会長
はせがわ わたる
長谷川 渡 さん



「この人」欄、平成28年のト
リを務めていただきますのは、
3期6年務めた前会長の後
を引き継いで、この春会長に
就任されました茅ヶ崎地区
交通安全協会の長谷川渡会
長です。

会長は、茅ヶ崎市内本村の
出身で、現在はこの地で工務
店を経営されています。趣味
は山登りで、友人とあるいは
単独で、遠くは北アルプス、近
くは丹沢連峰などを踏破し
ています。山歩きは健康にも
いいですが、きつい思いをして
山頂に登ったときの達成感
はこの上ないものを感じますし、
すばらしい景色を眺め、おい
しい空気を吸って、食事がおい
しいこと、それを仲間と共有
できることに楽しさ、喜びを
感じることです。まじめ
で几帳面なお人柄ですが、協
会の事務所に顔を出したと
きは、気さくに声を掛けてい
ただき、協会事務や各種安全
活動等にも理解を示してい
ただいています。

安全協会には昭和63年に
交通指導員として関わるよ
うになり、朝夕の時間帯や各
季の交通安全運動のほか、
茅ヶ崎地区は初詣や駅伝対
策に始まり大岡越前祭や浜
降り際、花火大会など各種イ
ベントに伴う交通対策が目白
押しですので、年間を通じて
忙しく活動しています。

茅ヶ崎地区の交通情勢は、
交通事故の死者数は前年と
同数の1名ですが、発生件数、
負傷者数とも減少傾向を示
しています。

しかしながら、他の地区同
様に高齢者事故が多発傾向
にありますので、高齢者対策
として自転車や自動車運転
の高齢者交通安全教育はも
ちろん、運転免許証の自主返
納（申請による免許の取消し）
制度を周知してまいりたいと
考えています。来年3月に改
正道交法が施行され75歳以
上の高齢運転者に対する臨
時認知機能検査と臨時高齢
者講習がスタートしますが、

報道等でご案内のとおり、身
体機能が低下した、あるいは
認知症の疑いのある高齢者
による悲惨な交通事故が後を
絶たないので、その必要性を
強く感じています。

その他、交通事故の特徴と
しては、平坦な土地柄もあって
自転車事故が目立ちますので、
毎月10日の「無灯火（10日）
防止キャンペーン」、「自転車ル
ール講習」など従来からの対
策も警察や、自治体、関係団
体と協力して推進してまいり
ます。

現在は、年末の交通事故防
止運動等交通安全活動に加
えて、警察署の移転構想があ
るため、忙しく対応していま
すが、会長には健康に留意さ
れまして協会をリードしてい
ただき、事故のない安全な茅
ヶ崎地区の実現にご尽力をよ
ろしく願っています。
（取材協力：茅ヶ崎地区交通
安全協会）

こんにちは （一社）幸交通安全協会です

幸交通安全協会は昭和39年に御
幸交通安全協会として発足し、幸交
通安全協会と改称、さらに一般社団
法人幸交通安全協会として、幸警察
署の隣に事務所を移転し、中川会長を
筆頭に理事役員20名、事務職員3名
体制で、人口163,000人の幸区の地域を
担っています。

幸区内の交通事故情勢は事故の
件数は減少しており、平成27年春か
ら568日間「交通死亡事故ゼロ」を続
けていましたが、残念ながら今年8月
に二輪車の死亡事故が発生してしま
いました。

そんな中、高齢者事故、自転車事
故、二輪車事故の発生件数が多い
ことから、これらの事故を減少させる
ため、交通安全日等には幸警察署指
導のもとに会長をはじめ安全協会役
員、交通指導員、地域交通安全活動
推進委員等交通関係団体員が街頭

指導活動を行っています。高齢者交
通安全教室、自転車の安全な乗り方
教室等交通安全教育活動には、積
極的に参加し、事故防止に力を入れ
ています。

交通安全活動は、春、夏、秋、年
末の交通安全運動をメインに行っ
ており、活動の内容は、区内の人通り
の多い商店街での交通安全パレ
ードや買い物客等が多く集まる川崎駅
西口の大型商業施設「ラゾーナ川
崎プラザ」催し物広場での一日警察
署長に委嘱した芸能人等有名人に
よる交通安全キャンペーンのほか、
区内幼稚園児による演奏や市立高
校生によるダンス、自動車学校関係
者による交通事故防止寸劇等を披
露して通行人や買い物客の注目を
集めてから、交通指導員等交通関
係団体の方々が反射材やチラシを
配布するなどして効果的に行ってい
ます。

当協会もご多分に漏れず、事業
所を中心として会員の減少傾向が
続いていましたが、町内会の役員で



もある会長等のご尽力により、6月か
ら区内町内会5,300世帯が事業所
会員として加入していただくこと
になり、さらにその町内会役員も理事
として各種交通安全活動にボラン
ティアとして参加していただくなど、
まさに一石二鳥の成果があったとこ
ろで、今後も活性化が期待される
ところであります。

交通事故全体は減少傾向にあり
ますが、今後も幸区内から悲惨な交
通事故を1件でも減らすため、警察
署の指導をいただき、関係団体と連
携しながら交通安全活動を推進し
てまいります。

（鍋島 記）

地区交通安全協会の活動紹介



伊勢佐木

「横浜エリアゼロ対策」に協力するため、伊勢佐木モール街において、交通事故防止を呼びかけました。



青葉

区民まつり会場において、交通安全ブースを設け、反射材などの啓発物を配布し、白バイ体験乗車と合わせて、交通安全広報を行いました。



麻生

新百合ヶ丘駅前において、警察署と連携し、乗降車両に「違法駐車は迷惑！危険！」のチラシを配布しながら違法駐車追放を呼びかけました。



秦野市

子供と高齢者の交通事故が多発したため、秦野市公認キャラクター「丹沢はだの三兄弟」入りののぼり旗を作製・掲出し、事故防止を呼びかけています。



相模原

交通公園で、セーフティリダーに自乗車の安全な乗り方の研修会を行った後、交通指導員とともに来場した児童にチリリンスクールを実施しました。

山手

大型スーパー前において違法駐車・放置自転車・バイクの追放と飲酒運転根絶キャンペーンを実施しました。



神奈川

西区の自動車学校を借りて、高齢運転者講習を実施し、認知判断操作の遅れなどを自覚していただき事故防止を呼びかけました。



都筑

中学生生徒600人を対象にスケアードストリート、合わせて救急車の救急活動を取り入れてリアル感のある自転車安全教育を実施しました。



川崎臨港

高齢者の60人に自転車の安全な乗り方のDVDを視聴の後、川崎大師平間寺駐車場にて実技講習を行いました。



海老名市

海老名駅前、デストリアンデッキにおいて交通指導員などが中心となつて放置自転車・バイクと違法駐車追放キャンペーンを行いました。



インフォメーション

- 第57回交通安全国民運動中央大会 ————— 1月19日(木)グランドヒル市ヶ谷
1月20日(金)文京シビックホール
- 公益財団法人神奈川県交通安全協会賀詞交歓会 — 1月26日(木)ロイヤルホール・ヨコハマ